

祇園・市長接待疑惑の解明を求める市民集会

平成28年6月2日、市長と市の職員3人が市の利害関係者（マッチバコとり）である理事からの案内で京都祇園のお茶屋「池田家」で宴会を行いました。

一見さんお断り、1人6万円から10万円かかるとも言われている店で、利害関係者が良く知るお茶屋に連れ立ったもの。「割り勘で1万5千円支払った」と市長は説明していますが、総額7万5千円

（市長、職員3人、利害関係者）の支払いが証明されていません。これが明らかにされない以上接待供給の疑惑は拭い去れません。

マッチバコとりでは、平成27年度約4650万円（全額国庫補助）、28年度約4099万円（全額国庫補助）、29年度約4955万円（半額国庫補助、半額市）の補助金が投入されている利害関係者。

補助金交付団体と藤井市長、 (マッチバコとりで) 取手市長 京都お茶屋(高級料亭)で宴会

12
月
市
議
会

12月3日の本会議、12月6日の建設経済常任委員会、12月11日の総務文教常任委員会でも議論されてきましたが疑問は募るばかりでした。

事実を解明するため強い調査権限を持つ調査特別委員会（百条委員会）の設置を求めましたがわずかな差で否決されています。



お茶屋 池田家

市民の皆様には議会の議論と事実の経過をお知らせする市民集会を右記の通り開催し、市政の信頼回復のため真相究明を図りたいと考えます。

是非ともご参加いただきたくお願いいたします。

日時 **1月26日(土)10時開会**
場所 **福祉交流センター**

(市役所内 住所：取手市寺田 5144-3 電話：0297-72-0603)

「祇園・市長接待疑惑の解明を求める市民集会」準備会発行

呼びかけ人

細谷 のりお (市議会議員、連絡先 090-9005-5074)
池田 めぐみ (市議会議員)
加増 みつ子 (市議会議員)
飯島ゆうすけ (市議会議員)

京都接待疑惑の経緯と創業支援補助金との関係

● 近畿経済産業局主催のフォーラム参加

平成28年6月2日、近畿経済産業局による関西・しごと創生交流フォーラム（大阪りそなビル）に事例発表者として藤井市長が参加。フォーラムには取手が補助金を交付しているマッチバコとりでの吉田理事（現在代表理事）が同行した。

フォーラム終了後、京都のお茶屋「池田家」で宴会を行っている。翌日6月3日吉田氏関連の企業視察を行って京都から帰路についた。

【旅費予算と決算、及び補助金】

交付金、市の補助金で支援（27年4,650万円全額国、28年4,099万円全額国、29年4,955万円半額国残り半額は市）している補助金団体役員（取手駅前マッチバコ）が同行、開催地が大阪であるにもかかわらず京都で夜の酒食を共にした。

場所はお茶屋「池田家」、一見さんお断りの高級料亭。

年度	予算	決算	補助金
27	49,000円（旅費）	41,180円	国補：46,503千円
28	49,000円（旅費）	159,170円 予備費より充用 123,000円 旅費実質 36,170円	国補：40,999千円
29	49,000円（旅費）	48,210円	国補：24,777千円 一財：24,777千円

創業支援事業は、株式会社あきない総合研究所 代表取締役 吉田雅紀氏からの指導助言と連携のもとにはじめられた。財源は全額国の補助金を活用することから市からの財政支出は無く、特に支障も見られないことから出発した。

市は一般社団法人を設立し、補助金を得る体制準備作りには吉田氏の尽力によるところが大きい。発足して3年間（27、28、29年）は市長が代表理事を務め吉田氏は理事となっていた。30年から吉田氏が代表理事。

● 平成29年度分の補助金減額の穴埋めに市の一般財源から

交付金は地域住民生活などの緊急支援、地方創生などを目的としたものであった。当初3年間、補助金は国から継続して交付される見通しのもとに創業支援事業をはじめ、その後は自立する予定であった。

しかし平成29年度については、国は方針を変更し全額補助から半額補助となった。この方針は早くも28年度初めには明らかになっていた。マッチバコとりでにとつて減額された分の穴埋めは重要課題であった。

市と一層関係を深め、半分の穴埋めには取手市の財政から確保することに成功した。この結果3年間で国から約1億1,220万円、市から約2,470万円の補助金を得た。